

豊田南部少年剣道クラブスポーツ少年団

会 員 数 18名
代 表 者 木下 幸久
設 立 年 昭和51年5月

変遷

増田、斎藤両氏が豊田南小学校の体育館で指導を開始。

南小学校の体育館老朽化に伴い、道場を青城小学校へ移す。

そして現在に至る。



平成21年7月17日

1学期末納め会終了後、中学生、高校生も参加した集合写真

活動状況

敬愛の精神に基づき、幼稚園の年長から中学生まで毎週火・金曜日に青城小学校の体育館で稽古に励んでいます。

子供達は厳しい先生方の指導の元、真剣に練習に取り組んでいます。そして学期末には、日々の練習の成果を競う納め会を開催し、練習の成果を発揮します。また卒業した中学生、高校生も納め会に参加し、審判や運営の手伝いをしてくれます。最後に指導者、高校生、中学生と子供達を2チームに分け紅白試合をして親交を深め合います。

近隣市町村の合同稽古会、開催試合には積極的に参加して、自分たちの持っている力を発揮し、勝ち負けにこだわらず楽しく剣道に取り組んでいます。

一時、クラブ員も減って心配しましたが、ここ2年で人数も増え活気溢れるクラブとなりました。

優秀選手の紹介

当クラブの卒業生には、現在も剣道を続けている人が多くいます。中でも静岡県警の大田泰代さんは、3年連続で全日本女子剣道選手権大会へ出場し、今年の大会でも活躍が期待されています。

今後の目標

子供達が楽しく剣道を継続し、試合で良い成績が残せるように、父兄一丸となってバックアップしていきたいと思います。